

平成27年度 佐久長聖中学校 学校関係者評価

評価 A：十分できている B：概ね十分できている C：普通である D：不十分なところがある E：ほとんどできていない

分野	評価項目		評価の観点	評価	成果と課題
学習指導	授業内容の充実	1	授業評価を適宜行い、その内容を検討して、生徒の学ぶ意欲を喚起する授業ができたか。	B	意欲的に授業に参加しようとする生徒が増加した。生徒の理解の様子により自主教材を作成したり、生徒の興味を引き出す教材選択を心がけた。生徒の発言を大事にし、生徒主体の授業を意識している。モチベーションの低下している生徒への対応が難しい。授業評価を統一した形式で実施した。
	教科指導力の向上	2	研究授業や教員相互の授業参観を実施し、授業の質的向上に役立てたか。	B	研究授業は教科を越えて授業の質的向上に役立っている。研究授業に向けて教科内での話し合いは様々な意見が出て有意義である。他教科、他学年の授業見学、参観をもっと積極的に行ってほしい。授業参観期間を設けたが、十分な参観はできなかった。さらに教科内、他教科間でも授業改善を活性化させ、資質の向上を目指してほしい。
		3	模試・検定結果を教科内で分析し、生徒の学力に応じた授業を実施したか。	B	得意、不得意な分野を判断し長期休暇の課題に活かした。結果を教科会で分析し、他学年とより連携すべきだと感じる。英検については朝や放課後、早い時期から対策を実施し、支援することができた。漢検の合格率をどう上げるべきか課題。
	学習習慣の確立	4	学習状況・学習時間の定期的調査と面接指導で、適切なアドバイスができたか。	B	個別懇談を通じて、学習上の相談やアドバイスができた。大学入試を意識した話や内容を授業に盛り込んでいる。伸び悩んでいる個々の生徒にもう少し積極的・効果的な助言がしたい。面接指導の時間がなかなか取りにくい、短時間でも全員に行ってほしい。
		5	授業効率を上げるため、生徒の授業に臨む姿勢の育成・指導に努めたか。	B	一方的にならないように発言の促しや、問題提起の工夫を行った。生徒の自主学習をいかに増やすかの工夫が必要だと感じた。学習内容の難易度が上がっても、生徒の意欲と理解力を下げないように細部までさらに配慮してほしい。
進路指導	希望進路の実現	6	6年間を見通した計画に基づいて指導が行われたか。 各学年と係の連携が十分であったか。 (模試・補習・進路講話・大学研究会・勉強合宿等)	B	大学入試の内容を踏まえた上で、現段階で教えるべきものとそうでないものを分けて指導することができた。各学年内の連携や係間の連携はよくできていた。合同教科会などで情報交換する機会を持てた。中高連携をさらに深めるしくみ作りが必要である。
		7	進路指導に生かせるようなデータ整備・分析ができたか。	B	模試等の分析ができた。高大接続に関する意識がやや弱い。
		8	勤労と職業観を育てるキャリア教育を実施したか。	B	3年のクエスト(企業探求プログラム)や一日社会体験など効果的な活動ができている。クエストはもっと時間をかけてもいい。
生活指導	自立的生活の確立	9	服装・挨拶等、生徒の自律的取り組みの支援ができたか。	A	服装は以前よりよくなっている。挨拶のできる生徒とできない生徒が二極化している。自主的にできるよう意識づけしていきたい。カジュアルデーに対する教職員の共通理解が必要。
	生徒相談の充実	10	担任・学年・部活顧問・生徒指導係等が連携を取りながら適切に生徒相談に乗れたか。	B	一人の生徒についていろいろな教職員と連携をとって対応することができた。生徒に関する情報の風通しはよい。情報の共有がしっかりできており、生徒へのアプローチも適切なタイミングでできている。クラスの枠を越えた指導ができるとよい。
	安心・安全な学習環境の確保	11	校内の清掃美化が進んだか。 定期的な巡視・立門指導・交通安全指導ができたか。	B	帰宅日やバスの巡視ができた。自ら進んで清掃・美化にあたれるように、さらなる指導が必要。交通安全指導については、もう少しやっていく必要がある。
	いじめの早期発見	12	いじめの早期発見と対応に努めたか。	B	面談で生徒一人ひとりに確認した。生活記録、館からの情報で早めに対応してほしい。
開かれた学校づくり	開かれた学校づくり	13	地域や保護者の意見・要望に対して迅速に対応できたか。	B	地区保護者会等を含めて、家庭連絡を密に取り合って情報の共有を図ることはできた。寮生の帰宅書や参観日・講演会等の時の面談、アンケートによって得られた意見・要望に可能な限り迅速に対応してほしい。
		14	ホームページや学年通信を通して、各種情報を生徒や保護者に提供できたか。	B	通信はできるだけ多く出すよう努めた。館通信も本年度は新しい試みを。取り入れるなど工夫ができた。内容・質の充実と向上を目指してほしい。
		15	情報を積極的に発信し、地域との連携を深めたか。	B	ホームページの利用、商店街との連携、地元のメディアへの情報提供ができた。教科的にも外部に発信できるような授業や活動を行ってほしい。